

人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」 川村 たかし
めあて

場面を分け、場面ごとに小見出しを書こう。

場面のはじめの時を表す言葉

- 一 …町外れの広場に
- 二 …夜になった。
- 三 …次の日、
- 四 …その夜ふけ……。
- 五 …次の日は、

↑
場面分けは、児童の実態や教師の教材分析に応じて、他の分け方もできるでしょう。

五	四	三	二	一	場面
			じんざが男の子に 会って、少し元気に なった場面	サーカス小屋で年取っ たじんざがさびしそ うにしている場面	小見出し
() の心じよう曲線					
本時では、下段の心情曲線の部分は空白のまま でよい。					

【2 / 8時間目 指導略案】 使用するワークシート②

活動のねらい

場面を分け、場面ごとに出来事を整理して小見出しを書き、物語の大まかな内容を
とらえることができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

- 場面の様子が分かるように短い文（小見出し）で表すことを知らせる。

2 場面分けをして、物語の大体の内容をとらえる。

- これまで学習してきた場面の分け方を参考にして、時を表す言葉を で囲ませ、
五つの場面に分けさせる。

3 場面ごとに小見出しを書く。

【発問】 分けた場面の内容が分かるような小見出しをつけましょう。

- 場面の小見出しは、じんざを中心に考えさせる。
- ※ 「一の場面はどんなこと書いてあったかな？」などと尋ねながら、教師と一緒に考
えさせ、書き方をとらえさせてもよいでしょう。
- 時間があれば、隣の友達と比べて、よりよい形に直させてもよい。

【評価】 場面ごとに小見出しを書き、大まかな内容をつかむことができる。（イ1）

4 本時を振り返り、次時について知る。

- ワークシートで自己評価をさせる。
- 次時は、一の場面を読み、登場人物のことについて学習することを知らせる。